

第2回 模擬店設置会議

日時：8月28日（木）10：00～

場所：オンライン（Zoom）

項目

1. 模擬店参加のための諸手続き	1
(1) 模擬店経費について	1
(2) 電力供給について	5
2. 安全局より	エラー! ブックマークが定義されていません。
(1) 検便検査について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(2) 火気使用上の注意	99
(3) 夜間完全退構について	26
3. その他	277
(1) 今後の参加辞退・申請内容の変更について	277
(2) 今後の模擬店設置会議について	278

1. 模擬店参加のための諸手続き

(1) 模擬店経費について

模擬店経費とは、テント費・車両運搬費・参加費・清掃費・ビニールシート費・ブルーシート費（油使用団体のみ）・消火器代（火気使用団体のみ）の合計金額のことです。

テント費		15,400円
車両運搬費		8,090円
参加費		2,860円
清掃費	3日間営業	3,000円
	2日間営業	2,000円
	1日間営業	1,000円
ビニールシート費		2,000円
ブルーシート費		2,000円
消火器代		2,000円

※その他経費として、プロパンガスレンタル料・検便・保険料、断熱材代

① テント費

模擬店を出店する際に必要となるテントは、大学祭実行委員会が生協から一括してレンタルを行い、大学祭準備日（11月1日（土））に各団体へ貸し出しを行います。

今年度は、テント費として15,400円をお支払いいただきます。

② 車両運搬費

車両運搬費とは、テント運搬の際にかかる費用です。

今年度は、車両運搬費として8,090円をお支払いいただきます。

③ 参加費

各模擬店参加団体が共同で使用する物品は大学祭実行委員会が一括で管理します。その際にかかる費用を全模擬店参加団体から参加費として徴収します。

今年度は、参加費として2,860円をお支払いいただきます。

*参加費は、仮設流し場のレンタル費用、たわし・スポンジ・ゴミ袋等の購入に使用します。

④ 清掃費

敷石の汚れの清掃を業者に委託する際にかかる費用です。

今年度は、清掃費として出店1日毎に1,000円をお支払いいただきます。

3日間営業

→3,000円

2日間営業

→2,000円

1日間営業

→1,000円

⑤ ビニールシート費

模擬店の下に敷くビニールシートは、大学祭実行委員会が一括して購入し管理します。

今年度は、ビニールシート費として2,000円をお支払いいただきます。

⑥ ブルーシート費（油使用団体のみ）

昨年度同様、油使用団体には、敷石の汚れ防止のため模擬店エリアの養生にブルーシートを使用します。油使用団体とは、揚げ物の調理をする団体や、お好み焼きや焼きそばなどの、調理工程で植物油脂やバターなどの食用油脂を使用する食品を提供する団体を指します。

今年度は、油使用団体に限り、ブルーシート費として2,000円をお支払いいただきます。

現在油使用団体として申請されている団体

体育会男子バレーボール部、イベント制作委員会 p!ece、古典ギター部、Metronavi 運営委員会、体育会陸上競技部、体育会水泳部、ESS、B 類バドミントン部、体育会漕艇部、人力飛行機研究会 MaPPL、あぶら祭実行委員会 東京、アイリッシュ音楽研究会、体育会硬式庭球部、体育会剣道部、都立大子どもまつり実行委員会、Pluma、体育会ヨット部、B 類サッカー部、鳥人間部 T・MIT

⑦ 消火器代（火気使用団体のみ）

安全のため、火気使用団体には一団体につき消火器を1本設置していただきます。火気使用団体とは、鉄板焼器やフライヤーなど、ガスを使用して熱するものを使用する団体や、ホットショーケースやホットプレート、発電機などの、電気を使って熱するものを使用する団体を指します。

火気使用団体に限り、消火器代として2,000円をお支払いいただきます。

【その他経費】

① 検便

食品を取り扱う団体の方には、予め参加者全員に検便検査を実施していただきます。費用は一人当たり250円（税込み）/人程度を想定しています。また送料は1団体あたり430円または600円（検査人数によって金額が変わります）/団体を想定しています。詳細は、項目2（1）検便検査についてをご参照ください。

② 保険料

食品取扱団体は3,000円程度、その他の団体は1,000円程度を想定しています。確定した情報は、決定次第各会議にてご連絡いたします。

③ 断熱材代

火気使用団体は、火気の下に敷いていただく断熱材の費用を負担していただきます。200円/団体を想定しています。

【模擬店経費における注意事項】

* テント費・車両運搬費・参加費・清掃費・ビニールシート代金・保険料に

油使用団体の場合：ブルーシート代金

火気使用団体の場合：消火器代、断熱材代

食品取扱団体の場合：検便代

を加えた合計金額が模擬店経費となります。

* 上記の金額は予定のため、今後変動する恐れがあります。予めご了承ください。

【模擬店経費の支払いについて】

支払いの期間は９月～１０月ごろを予定しています。詳しい期間や料金の振り込み方法については、９月１６日（火）に行われる『第３回 模擬店設置会議』にて説明します。

【模擬店経費一覧】

以下の表は、各団体の模擬店経費（テント費・車両運搬費・参加費・清掃費・ビニールシート費・ブルーシート費（油使用団体のみ）・消火器代（火気使用団体のみ）の合計）予定一覧です。

※検便費用、保険料、断熱材代は含んでおりません。

団体名	金額（円）	団体名	金額（円）
AR 会	３５，３５０	B 類サッカー部	３５，３５０
B 類バドミントン部	３５，３５０	B 類バレーボール部	３５，３５０
Caps5	３５，３５０	das Lied	３１，３５０
ESS	３５，３５０	F.C.UNO	３１，３５０
Metronavi 運営委員会	３５，３５０	PersimmonT.C	３５，３５０
Pluma	３５，３５０	Skyhand	３１，３５０
アイリッシュ音楽研究会	３５，３５０	あぶら祭実行委員会東京	３５，３５０
イベント制作委員会 P!ece	３５，３５０	スイートピア	３１，３５０
たん究団	３５，３５０	ファッションショー制作委員会 Cap ⁵	２９，３５０
ボランティアサークルういんぐ	３０，３５０	マンガ研究会	３１，３５０
ラフ BALLER	３１，３５０	映画サークル KINO	３５，３５０
古典ギター部	３５，３５０	司法問題研究会	３１，３５０
星の広場の会	３０，３５０	人力飛行機研究会 MaPPL	３５，３５０

総合文化交流会 Media8	3 3, 3 5 0	生協学生委員会つむぎ	3 1, 3 5 0
体育会テコンドー部	3 5, 3 5 0	体育会ソフトテニス部	3 1, 3 5 0
体育会ハンドボール部	3 3, 3 5 0	体育会パワーリフティング部	3 0, 3 5 0
体育会ワンダーフォーゲル部	3 5, 3 5 0	体育会ヨット部	3 3, 3 5 0
体育会剣道部	3 5, 3 5 0	体育会硬式庭球部	3 5, 3 5 0
体育会柔道部	3 3, 3 5 0	体育会女子バレーボール部	3 1, 3 5 0
体育会水泳部	3 5, 3 5 0	体育会漕艇部	3 5, 3 5 0
体育会卓球部	3 1, 3 5 0	体育会男子バレーボール部	3 5, 3 5 0
体育会陸上部	3 5, 3 5 0	鳥人間部 T-MIT	3 5, 3 5 0
都立大子どもまつり実行委員会	3 3, 3 5 0	東京都立大学フラッシュモブサークル CUBE	3 1, 3 5 0
東日本きずなプロジェクト	3 1, 3 5 0	美術工芸研究会	3 0, 3 5 0
料理サークル Caesar	3 1, 3 5 0		

2) 電力供給について

夜間の模擬店営業のため、仮設分電盤を用いて各模擬店へ照明用の電力を供給します。

ソケットは各模擬店に1個ずつ貸し出し、大学祭実行委員会に取り付けを行います。

【注意】

- ・供給する電力は照明以外の用途に使用しないでください。
- ・テント内への配線・ソケットの取り付けは全て大学祭実行委員会が行います。無断でソケットの取り付けを行わないでください。営業中何か不備があった場合は、大学祭本部（学生ホール201 談話室）までお越しください。
- ・電球を紛失・破損等した場合は、予備を貸し出します。その際は大学祭本部（学生ホール201 談話室）までお越しください。

(1) 検便検査について

模擬店における食中毒の発生を防ぐため、今年度も予め模擬店参加者全員に対し検便検査を実施いたします。

① 検査対象者

食品を取り扱う模擬店参加団体の参加者全員

検査を受けていない人および陽性者は、当日のテント立ち入りを認めません。大学祭当日にテント内にて調理を含むその他作業に参加する人は、必ず受けていただくようお願いします。また、前日の仕込みについても、検査で陰性証明が取れている人が行うようお願いいたします。

なお、兼部等をしている方は、所属団体のどれか一団体のみで検査を受けていただくようお願いいたします。

② 金額

容器代・検査代合わせて250円(税込み)/人

検体発送費：検体49本以下は430円（レターパックライト）/団体

検体50本以上は600円（レターパックプラス）/団体

※昨年度実施した検査を受けなかった場合の返金は実施しません。できるだけ正確な人数での申請をお勧めします。

③ 実施方法

I. 大学祭実行委員会は、模擬店参加団体に企業が作成した検便検査申込書の用紙を配布する。

II. 団体ごとに、検便検査申込書を記入し、メールまたは FAX にて企業に送信する。

※送信する際、ファイル名は「東京都立大学_検便検査申込書_団体名」としてください。

III. 企業から大学祭実行委員会にまとめて送付された検査キット・レターパックを、各団体に配布する。

検査キット配布の際に、検査代金・検体発送費（レターパック費）を回収する。（第四回参加準備会議にて実施予定）

IV. 回収した代金を大学祭実行委員会が振り込む。

V. 団体ごとに検体をレターパックで企業に送付する。

VI. 検査結果が大学祭実行委員会に届くので、陽性者が出た団体に対してのみ通知する。

※結果通知の際、プライバシー保護のため団体の代表者の個人メールに通知します。（あらかじめ実行委員会に申請しているものと異なるメールアドレスへの結果の通知を希望する際は大学祭実行委員会メールまでご連絡ください。）

団体の負担軽減のため、検便検査一連の流れをマニュアル化して団体に配布

します。加えて、各団体の検査の進捗度を把握するために、企業に申請・キット提出の各手順が完了するごとに回答する Google フォームを作成し、団体にメールで送信します。

検便検査一連の流れのマニュアルおよび進捗度把握のための Google フォームは、「検便検査実施マニュアル」に掲載しています。

申請内容の変更について

9月4日までの変更は可能です。その際、訂正した申込書を送信してください。ファイル名は「東京都立大学_検便検査申込書_団体名_訂正版」とし、メール等に訂正版であることがわかるように記載してください。

受検者の名前を変更する際は、企業への事前連絡は不要です。検体を送る際に氏名ラベルを書き直してください。

④ 実施スケジュール

8月28日（木） 第2回模擬店設置会議	検査詳細説明・申込開始
9月4日（木）	申込締切
9月16日（火） 第3回模擬店設置会議	各団体請求額提示
10月13日（月） 第4回参加準備会議	代金回収・キット配布
10月15日（水）	検体発送開始（各団体）
10月21日（火）	検体発送締切
10月28日（火）	陽性者がいた団体にのみ通知
11月1日（土） 準備日	人数分のリストバンドを日ごとに分けて配布

⑤ 当日について

大学祭の当日は、検便検査で陰性証明が取れた人のみテント内に入ることができません。それ以外の人は、テント外での呼び込み等を行うのみとしてください。陰性証明の目印として、11月1日（土）に実施する全体準備会議にて各団体に人数分のリストバンドを配布します。当日は、必ずリストバンドを着用してください。万が一、検便検査が取れていない人が着用していること等が発覚した場合は、厳重注意等の対象となることがあります。

リストバンドを紛失した、汚れにより付け替えたい等があれば、大学祭今本部にお越しく下さい。

⑥ プライバシーの保護について

検査結果の取り扱いを含め、この取り組みは多くの人のプライバシーに関わります。大学祭実行委員会では以下の対策を講じると同時に、参加団体の皆様にも、個人情報の取り扱いには十分な注意をよろしくお願いいたします。

- ・結果の通知について

→プライバシー保護のため、陽性者がいた団体の代表者の個人メールにのみ結果を通知します。

代表者の方は、個別に該当者に連絡していただきますようお願いします。

団体のグループ LINE など、不特定多数の人に情報を流すようなことは決してしないでください。

- ・リストバンドの再配布について

→再配布は、大学祭本部にて氏名と受検者一覧を照らし合わせて行います。

結果の取扱いを含め、再配布は大学祭本部関係者のみが行うものとし、実行委員会内でも情報管理を徹底します。

【キッドの申し込みについて】

検査を実施するにあたり、申し込みとして、「検査申込書」を企業に提出していただきます。配布した Excel ファイルに団体名・団体代表者名・代表者連絡先・受検者氏名等必要事項を記載していただき、企業にメールまたは FAX にて送信してください。

メール送信先：kensa@medical-r.co.jp

FAX 送信先：042-499-8889

※送信する際、ファイル名は「東京都立大学__検便検査申込書__団体名」としてください。

兼部等をしている人は、**一団体のみ**で登録をお願いします。重複申し込みの場合は余分に料金が発生しますので、ご注意ください。

ご不明な点等ございましたら下記メールアドレスまでお問い合わせください。

大学祭実行委員会 安全局メールアドレス

mepo.anzen21st@gmail.com

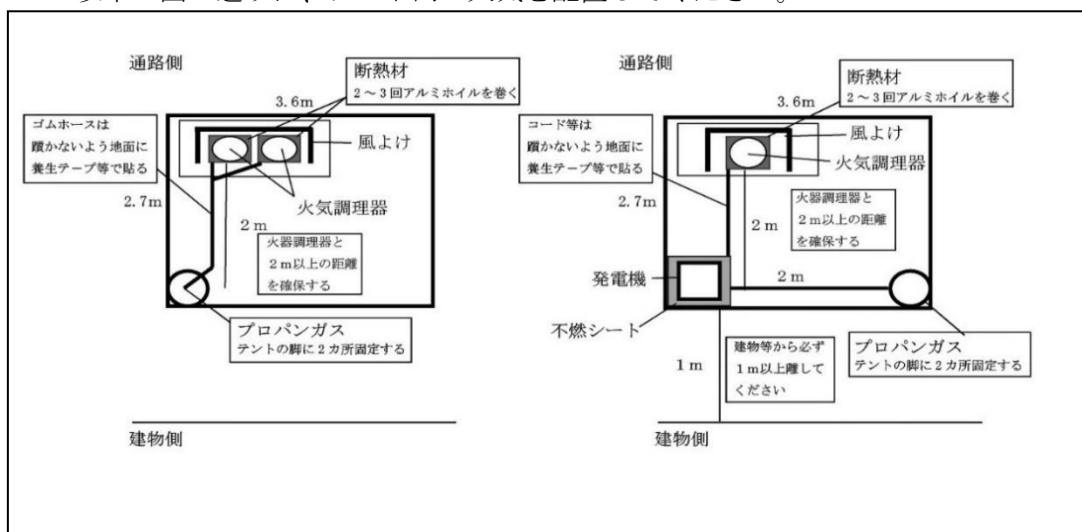
(2) 火気使用上の注意

模擬店で火気を使用する団体は以下のことに十分注意してください。

1. 火気使用にあたって

〈テント内火気配置〉

以下の図の通りに、テント内の火気を配置してください。



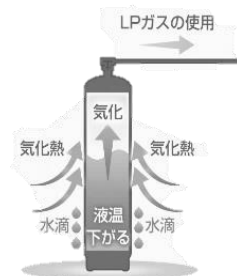
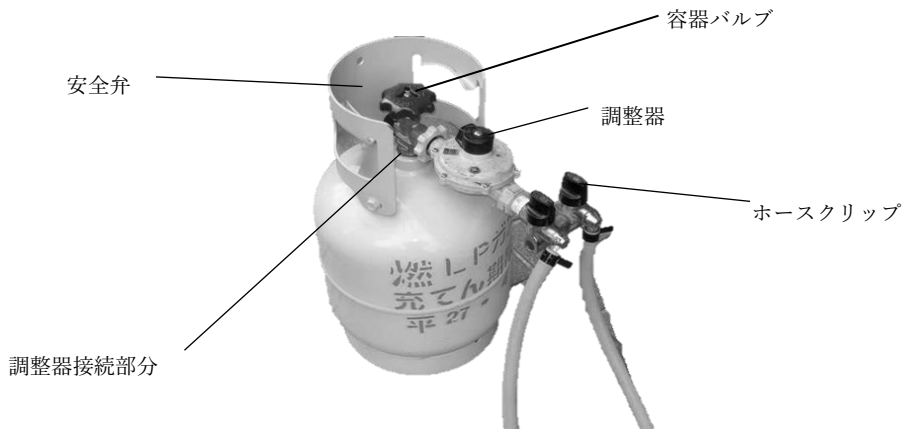
〈全体の注意事項〉

- ・火気運転中は代表者または副代表者のうち 1 名および火気取扱責任者のうち 1 名、計 2 名が常駐してください。
- ・事前に配布したガス漏れチェックスプレーを使用し、各自で1 時間に一度を目安に火器とホースのつなぎ目等にガス漏れがないか確認してください。
- ・火気チェックは各日 2 回（10：00 と 15：00 ごろ、3 日目は 10：00 のみ）に行います。火気の使用は 1 回目の火気チェックを受けてから始めてください。2 回目は、火気使用上での安全性が継続して確保されたうえで運営しているかの確認を目的とし、火気を停止させずに行います。備品に触る必要のある項目に関しては目視での確認とします。
- ・委員のチェックにて指摘された点は直ちに改善してください。改善が見られない場合は、火気使用停止および企画停止等の対処を行う可能性があります。
- ・火気は安定した平らな場所に置き、火気の周囲およびその下部 15 cm、上部 1 m には装飾等の燃えやすいものは置かないでください。

- ・アルミ製の風よけを3面以上に設置してください。段ボールにアルミホイルを巻いたものは使用禁止とします。
- ・机の上に火気を置く場合、火気の下にはアルミホイルを2重～3重回巻いた状態の断熱材を敷いてください。
(断熱材は大学祭実行委員会で用意しますが、アルミホイルは各団体に用意してください。)
- ・火器を床に置いて使用する場合は、不燃シートを敷いてください。(不燃シートは大学祭実行委員会で用意します。)
- ・大学祭実行委員会が主催する火気取扱い講習および消防講習)を受講していない団体は、火気の使用を認められません。
- ・火災が発生した場合には「緊急時対応」(緊急時対応マニュアル参照)および委員の指示に従ってください。
- ・その他、火気の使用に際して分からないことがあれば、分からないままに自らで判断せず、大学祭本部に報告・相談しに来てください。
- ・消火器については大学祭実行委員会から ABC 粉末消火器を配布するので、上記の模擬店配置図の通りに設置してください。また、レンタル品のため汚損・破損には十分に注意してください。万が一、汚損・破損があった場合は当該団体に弁償していただきます。

2. プロパンガスボンベの使用について

I. プロパンガスボンベおよび調整器の構造



〈プロパンガスボンベ〉

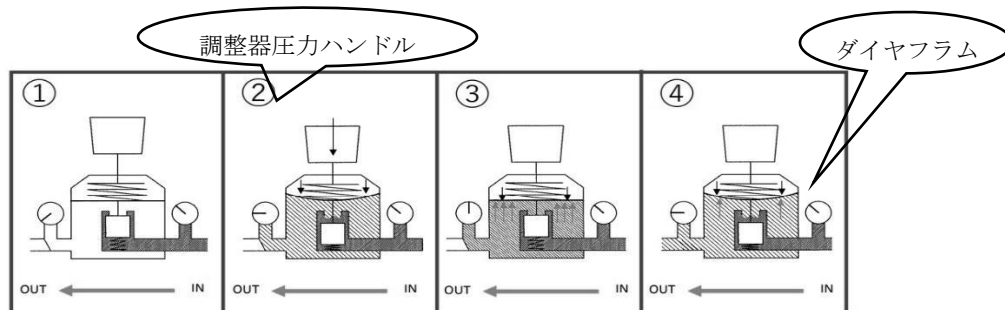
プロパンガスとは、常温では気体として存在する石油ガスに圧力をかけ、液体化させて保存されています。ボンベ内では、一定の圧力が保持されることでガスが液体と気体の両方の状態で存在しており、ガスを使用し始めてボンベ内部の圧力が弱まることで、ガスが気化していきます。そのためガス漏れが発生すると、ガスが強い勢いのまま噴出し、すぐに火気に到達・引火するという事態が起こりえます。

またプロパンガスは空気よりも重いいため、屋内でガス漏れが発生した場合床の上に滞留し爆発や火災につながる恐れがあります。

安全弁…プロパンガスボンベが加熱され内部の圧力が上昇し破裂することを防ぐため、ボンベ内の圧力が一定値に達すると予めガスを外へ漏洩させる仕組み。安全弁が作動しガスが漏洩した場合、そのガスに引火し火災が発生する恐れがあるため、ボンベは火気から離し、加熱しない。

〈調整器〉

ポンベから出る高圧のガスを、火気を使用できるレベルまで圧力を弱めるものです。



- ① ポンベの容器バルブを開いた状態
- ② 圧力ハンドルを右回転に回し、ガスが流れ込んだ状態
- ③ ダイヤフラムが圧力を受けて上に戻り、弁が閉まった状態
- ④ 出口バルブを開いてガスを流すと、ダイヤフラムが再び下に変形して弁が開き、ガスが流れている状態
- ⑤ 出口バルブを閉じると③の状態になり②で設定した調整圧力で止まる

II. 使用上の手順

- ① 容器のバルブ、調整器のコック、器具のつまみが全て閉じていることを確認する。



- ② ゴムホースを挿す方の調整器のプラグのキャップを外し、ゴムホースを調整器の赤線まで「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、両方の差し込み口にホースクリップを取り付ける。(右図参照)

※ゴムホースを接続する際は、調整器が動かないように手で支えて、接続する。

- ③ プロパンガスの容器バルブを反時計回りに半回転させ、開栓する。

※調整器圧力ハンドルには触れないでください。

※2口調整器を片側のみ使用する時は、ゴム管がつないである片側のコックだけを完全に開く。使用しない側のコックは絶対に開かない。

- ④ 使用後は必ず消火を確実にし、器具栓、調整器のコック、容器バルブの順で栓を完全に閉めて、ゴムホースを外す。(ゴムホースは、団体のテントで保管する。)

最後に調整器のキャップとゴム管のキャップを必ずかぶせる。(損傷等によるガス漏れを防ぐため)

※営業終了後、ボンベは調整器をつけたままの状態で所定の場所(未定)に返却する。



III. 注意事項

(1) 使用環境等の注意

- ・プロパンガスボンベ(以下、「ボンベ」)は大学祭実行委員会が指定した、平らで直射日光の当たらない風通しの良い場所に置き、倒れないよう2箇所(右図参照)をチェーンやひも等で模擬店テントの通路に面していない方の足に固定してください。
- ・ボンベは火気から2m以上離してください。(火気の熱によるボンベの破裂を防ぐため。また、ボンベからガスが漏洩した場合に、火気への到達を遅らせるため。)
- ・テント内にボンベを放置しないでください。・ゴムホースに足を引っ掛けないよう、床等に養生テープで固定してください。
- ・ゴムホース、留め具はバンド止め(ホースクリップ)をし、しっかりとつけてください。
- ・ボンベの団体間の又貸しは禁止です。
- ・ボンベに貼ってある養生テープは絶対に剥がさないでください。剥がれた場合は早急に大学祭本部に報告してください。



- ・ボンベの運搬の際は手で持ち、台車での運搬はしないでください。（振動でボンベと調整器の接続部分が緩むため）
- ・ボンベと調整器の接続部分は緩みやすいため、モノをぶつけたり、衝撃を与えたりしないでください。緩みを感じた場合は絶対に使用せず、早急に大学祭本部に報告してください。
- ・ガスホースの上に物を置かないでください。（ガスの流れが止まり、再びガスが流れた際に爆発を起こす恐れがあるため）

（２）使用中の注意

- ・火気使用中、ゴムホースおよび調整器は絶対に外さないでください。
- ・ボンベからガス臭がする、接続部品が外れる等の問題が発生した際には、即座にガスの元栓を閉め、火気使用を中止し、大学祭本部に報告してください。
- ・油がついた手や手袋で取り扱わないでください。
- ・ボンベは大学祭実行委員会が一括して管理します。模擬店営業終了後、各日所定の場所(未定)に返却してください。

（３）ガスがなくなった場合について

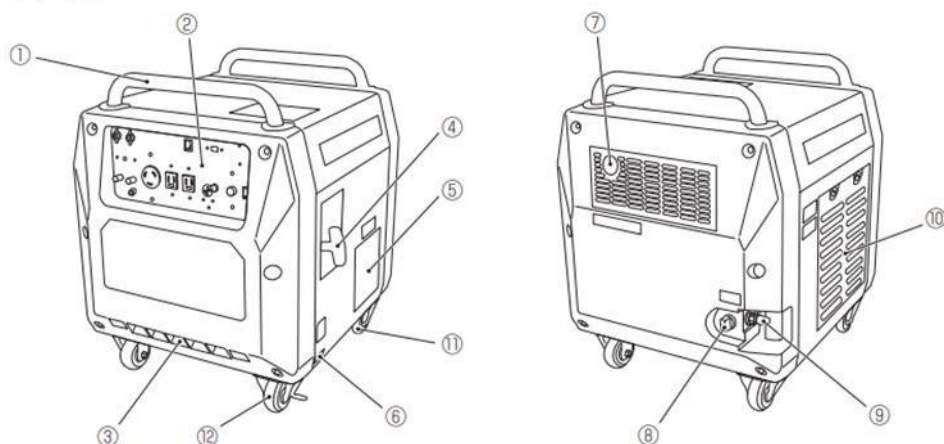
複数のガスボンベを申請していて、先に使用していたボンベのプロパンガスがなくなった場合は、使用済みのボンベをもって大学祭本部まで来てください。新しいボンベと交換します。

3. 発電機（プロパンガス式）の使用について

第21回みやこ祭においては、プロパンガス式の発電機の使用のみを許可しています。それ以外の発電機は一切の使用を禁止します。

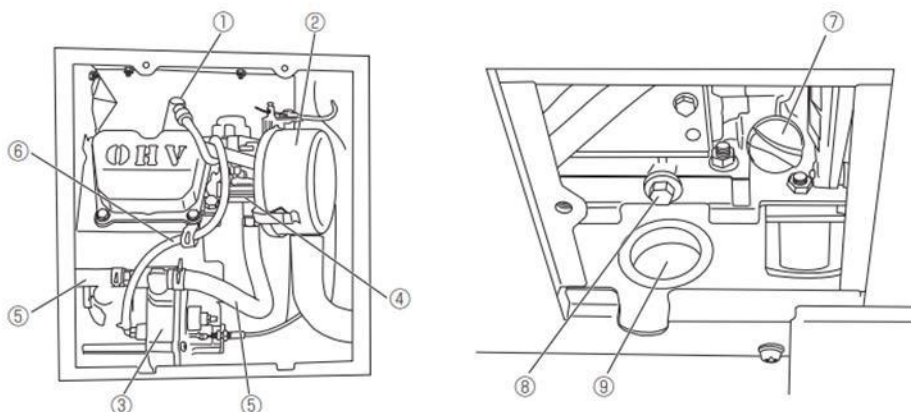
I. 発電機の構造

1 外装



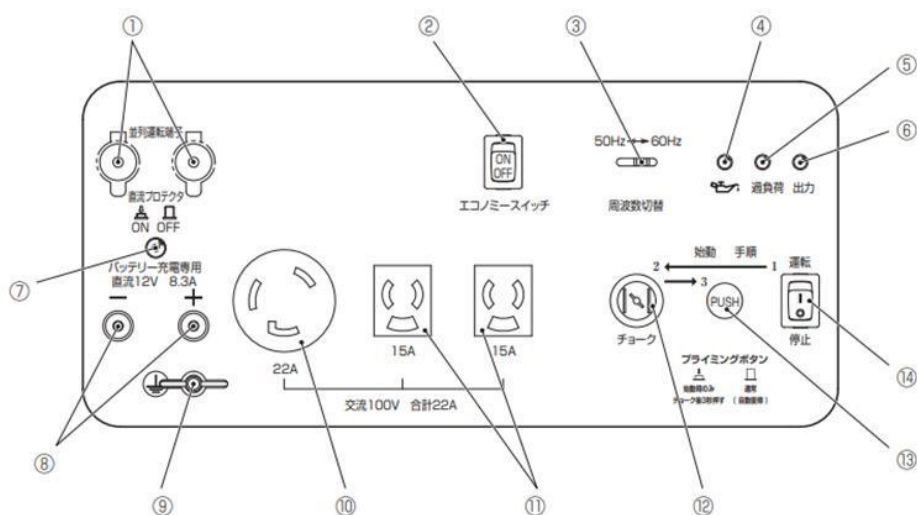
- ① キャリーハンドル
- ② コントロールパネル 下図参考
- ③ 冷却口
- ④ リコイルスタータグリップ…ハンドルを引いてエンジンを始動させる
- ⑤ オイルメンテナンスカバー…エンジンオイルの点検、補給、交換の際に取り外す
- ⑥ 形式、製造番号表示ラベル
- ⑦ 排気口…排気ガスを放出する
- ⑧ 燃料コック…排気ガスを放出する
- ⑨ プロパンガスホース接続プラグ
- ⑩ スパークプラグ・エアクリーナメンテナンスカバー…燃料を着火・エアクリーナーの点検、清掃時に取り外す
- ⑪ キャスター
- ⑫ キャスター（ロック付）

2 内部



- ①スパークプラグ/プラグキャップ(上記同様)
- ②エアクリーナ…燃焼に必要な空気に含まれる細かいダストを取り除く
- ③レギュレータ…安定したガス圧力・流量を確保する
- ④ミキサー
- ⑤プロパンガスホース
- ⑥バキュームチューブ
- ⑦オイルフィルターキャップ…潤滑用オイル注入箇所
- ⑧オールドレンボルト(対辺 1 2 m)…エンジンオイルの漏れを防止する
- ⑨オールドレン用グロメット

3 コントロールパネル



- ①並列運転端子… 2 台の同一の発電機で並列運転する際に使用する

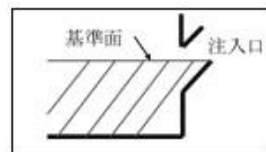
- ②エコノミースイッチ…ON にすると、負荷に応じてエンジンの回転をコントロールし燃料の消費を抑える
- ③周波数切替スイッチ…発電した交流電力の周波数を 5 0 Hz と 6 0 Hz に切り替える
- ④オイルセンサーランプ…運転中にエンジンオイル量が規定以下になると点滅し、自動的にエンジンを停止させる
- ⑤過負荷ランプ…接続された電子機器から定格出力を超える電気を要求された時に点滅し、発電機は電気の供給を遮断する
- ⑥出カランプ…エンジンが始動し、電気が発電され始めると点灯する
- ⑦直流プロテクタ…使用範囲を越えて使用したり、バッテリーに異常がある場合、回路を遮断して発電機を保護する
- ⑧直流ターミナル…バッテリー充電用の直流電気を取り出す
- ⑨アース端子…地面に接続し感電を防止する
- ⑩交流コンセント（2 2 A）…交流電気を取り出す
- ⑪交流コンセント（1 5 A）（上記同様）
- ⑫チョークノブ…ノブを引くことで一時的に燃料の濃度を濃くし始動性を高める（回転が安定したら戻す）
- ⑬プライミングボタン…ガスの通路を遮断する安全弁を解除し、ミキサー及び燃料通路にガスを供給する
- ⑭エンジンスイッチ…運転と停止をコントロールする

※参考機種 shindaiwa 携帯発電機 IEG 2 2 0 1 M-PG

引用元 shindaiwa 携帯発電機 IEG 2 2 0 1 M-PG 取扱説明書

〈使用手順〉

- ① 周波数切り替えスイッチで接続する電気器具と周波数を一致させる。
- ② エンジンオイルの量が基準面（注入口の口元まで）に入っていることを確かめる。入っていない場合、オイルを補充する。（右図参照）
- ③ 接続ホースを本機の接続プラグに取付ける。
 ※ホース先端の接続ソケットのスリーブをホース側にスライドした状態で本機のプラグに差込む。手を離した時にスリーブが元の状態に戻り、ソケットとプラグが確実に固定されたことを確認する。



- ④ プロパンガスボンベのバルブを開く
- ⑤ 燃料コックを ON にする。
- ⑥ エンジンスイッチを運転にする。
- ⑦ チョークノブを始動位置に合わせる。ただしエンジンが温まっているときは行う必要はない。
- ⑧ プライミングボタンを 3 秒押し込む。
- ⑨ リコイルリコイルスタータハンドルを軽く引き出し、重くなったところで勢いよく引きエンジンを開始させる。
- ⑩ エンジンが安定したら、チョークノブを運転にする。
- ⑪ しばらく暖機運転させる。
- ⑫ 出力ランプが点灯していることを確認する。
- ⑬ エコノミースイッチを ON にする。
- ⑭ 使用機器のスイッチは切っておき、コンセントへプラグを差し込む。

〈エンジンの停止〉

- ① 電気器具のスイッチを OFF にする。
- ② 電気器具のプラグをコンセントから抜く。
- ③ エンジンスイッチを OFF にする。
- ④ 燃料コックを OFF にする。
- ⑤ 引き続き運転しない場合は LP ガス容器を取外すため、以下の作業を行う。
 - ・発電機燃料系内の残留ガスを抜くため、燃料コックを開の位置にした状態でボンベのバルブを閉じてエンジンを始動する。
 - ・ガス欠でエンジンが停止した後、燃料コックを閉の位置に、エンジンスイッチを停止の位置にする。
 - ・接続ホースを取外し、接続プラグにキャップをかぶせる。

II. 注意事項

(1) 使用環境等の注意

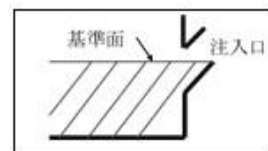
- ・壁等の障害物から 1 m 以上離し、換気の悪い場所等で使用しないでください。

(排気ガス中に含まれる一酸化炭素による中毒死を防ぐため)

- ・発電機は大学祭実行委員会が指定した、平坦で安定した場所に置いて使用してください。
- ・雨天時や水の掛かる場所では使用しないでください。また、発電機の水洗い、濡れた手での操作も絶対にしないでください。(感電事故を防ぐため)
- ・発電機本体およびカセットボンベは直射日光があたるところや高温になる場所、加えてボンベは発電機からの熱気の当たる位置に長時間放置しないでください。(各火気の内部が高温になり、燃料が気化して引火しやすい状態になることを防ぐため)

(2) 給油に関する注意

- ・エンジンオイルの注入は換気の良い場所でエンジンを止めてから行ってください。注入時にこぼれた場合はきれいに乾いたタオルや布で拭き取り、完全に乾いてからエンジンを始動させてください。
- ・給油中は、他の火種になるようなものを近づけないでください。また給油ノズルを給油口に当てる等して、静電気が発生しないように注意して行ってください。
- ・エンジンオイルを飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または目に入ったりした場合は、直ちに保健室(7号館1階)に行ってください。その後、遅滞なく大学祭本部に連絡してください。また皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水で直ちに洗い、衣類は取り替えてください。
- ・エンジンオイルは規定量(*)以上給油しないでください。
*エンジンオイル規定量…基準面(注入口の口元)
以上に給油しないでください。(右図参照)



(3) 使用中の注意

- ・発電機を建物や設備から最低1m以上離してください。使用中は、排気が屋内に入らないようにしてください。
- ・アース端子から発電機と地面を繋ぎ接地を行い、電気が地面に逃げるようにしてください。(誤作動や感電防止のため)
- ・周りに油脂等の危険物や、装飾や紙くず等の燃えやすいものを近づけないでください。
- ・発電機の周囲を囲ったり、箱をかぶせたりしないでください。
- ・発電機を傾けたり、運転中に動かしたりしないでください。
- ・使用しない時はエンジンスイッチを停止してください。
- ・エンジン始動前に電子器具を接続しないでください。

- ・運転中はスパークプラグ(本誌 P. 17 図参照)に触れないでください。
- ・定格出力を超えた過負荷で使用しないでください。
- ・指定された燃料以外で使用しないでください。必ず発電機に対応した燃料を使用してください。

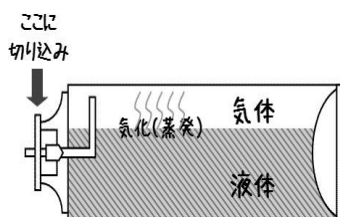
(4) プロパンガス式発電機の注意

- ・プライミングボタンが押し込んだまま戻らない場合は、直ぐに使用(始動)をやめ、発電機の燃料コック、プロパンガスボンベのバルブを閉める。
- ・使用中、使用直後はプロパンガスボンベ、圧力調整器、プロパンガスホースやその接属部が熱くなっている場合があるため、十分冷めてからそれらを取扱う。
- ・プロパンガスボンベおよび接続ホースの取付け、取外しはエンジンを停止した状態で換気の良い場所で行う。
- ・エンジン始動前には一酸化炭素チェッカーおよびガス漏れ検知スプレーを用いてガス漏れが無いことを確認する。

4. カセットコンロの使用について

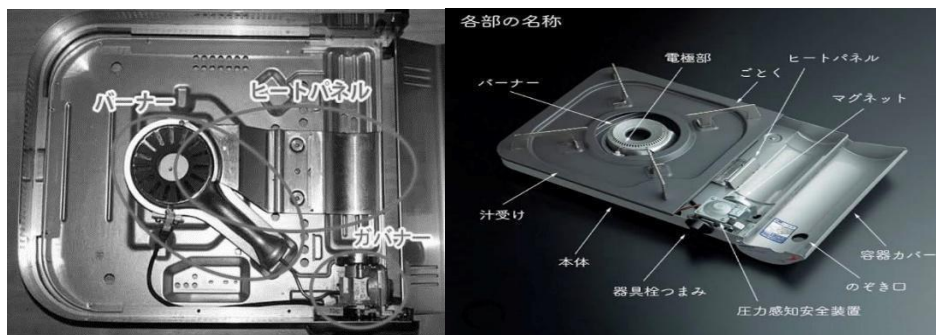
I. カセットボンベおよびカセットコンロ構造

〈カセットボンベ〉



カセットボンベの中には、プロパンガスが液体と気体の両方の状態で詰められています。内部は大気圧の2倍程の高い圧力となっているため、高い圧力に押されてガスが外部に吹き出す仕組みになっています。プロパンガスは、空気よりも重たいため屋内でガス漏れが発生した場合、床の上に滞留し爆発や火災につながる恐れがあります。

〈カセットコンロ〉



・ガバナー

…カセットボンベから出るガスの圧力を調整してバーナーに供給する、圧力調整器の役割を果たしています。カセットボンベが過熱され、ボンベ内部の圧力が高くなりすぎると、ガバナーの圧力感知安全装置が作動し、自動的にガスの供給を停止、または物理的にコンロとの接続を断つ機能を持ちます。

・バーナー

…吹きこぼれや風により炎が消えた場合、温度変化を自動で感知して自動的にガスの供給を停止する温度センサーが備え付けられています。

・ヒートパネル

…カセットボンベが気化熱によって冷え、圧力が下がることで火力が弱まる事を防ぎます。

・汁受け

…吹きこぼれがコンロ内部に入らないようにする

・五徳

…調理器具を乗せる支持器具

II. 使用上の手順

(1) ボンベの取り付け方

- ① ボンベカバーを開ける
- ② 点火つまみが「OFF (消)」になっていることを確認する。
- ③ ボンベのキャップを外す。

- ④ ボンベ切り込み凹部をボンベ受けガイド凸部に合わせコンロとボンベを装着する。
- ⑤ ボンベカバーを閉じる。

〈注意〉

- ・装着部に異物が付着していないか確認し、必ず除去すること。
- ・ボンベの誤装着でガスが漏れた場合は、ガスの臭いがなくなるまで点火しない。
- ・再点火は溜まったガスをうちわ等で扇いでから行う。

(2) 点火

- ① 火つまみを「ON」方向にカチッと音がするまで回す。
- ② 点火されたことを確認する。
- ③ 点火つまみを回し火力を調整する。

〈注意〉

- ・一度で点火しなかった場合はうちわ等で溜まったガスを扇ぐこと。
- ・点火しない場合は注意しながら数回点火を試みる。

(3) 消火

- ① 火つまみを「OFF (消)」方向に回し消火する。
- ② ボンベを取り外す。
- ③ 取りはずしたボンベはふたを閉め、火気から離れた場所に置く。
- ④ ボンベを取り外した状態で再度点火する。

〈注意〉

- ・使用後は本体とボンベが高温になっているため、しばらく待つ。
- ・本体の配管に少量のガスが残るため、点火し燃焼させる。

III. 注意事項

(1) 使用前

- ・取扱説明書に従い、正しくボンベとコンロを接続してください。
- ・汁受け(本誌 P. 22 図参照)を必ずつけてください。
- ・五徳を正しい向きに設置してください。

- ・ ボンベとコンロが同一メーカーのものであることを確認し、使用してください。
- ・ 水平で安定した場所で使用してください。
- ・ 火気の近くや直射日光等熱気の当たるところでは使用しないでください。
- ・ 複数のコンロにまたがって鉄板等を使用しないでください。
- ・ 他の火気から 2 m 以上離して使用してください。
- ・ 他の熱源（鉄板等）の上にコンロを置いて使用しないでください。

(2)使用中

- ・ 油や水、食材を調理器具に入れない状態での空焚きをしないでください。
- ・ ボンベカバーに少しでも被さるような、底面の大きい調理器具（鍋、フライパン等）は使用を避けてください。
- ・ ガス漏れ（異音、異臭等）がないかを確認してから点火、消火動作を行ってください。
- ・ 点火、消火は必ず目視で確認してください。
- ・ 再点火は毎回ガスの臭いが完全にしないことを確認してから行ってください。
- ・ 調理中は、火が消えていないか、随時確認してください。・ 異常（異音、異臭、ガス漏れ等）に気づいた場合は下記の動作を慌てず行ってください。
 - ① 点火つまみを「OFF（消）」にして消火する
 - ② ボンベを本体から取り外す（ボンベが高温になっている可能性があります、注意が必要です）
 - ③ 換気を行い、ガスを逃がす（この際、テント内の電灯のスイッチに触れないこと。）
- ・ 使用中は、万が一の場合にすぐに消火できる範囲から離れないでください。
- ・ コンロの火をつけた状態で傾けたり、移動させたりしないでください。

(3)カセットボンベの取り扱いについて

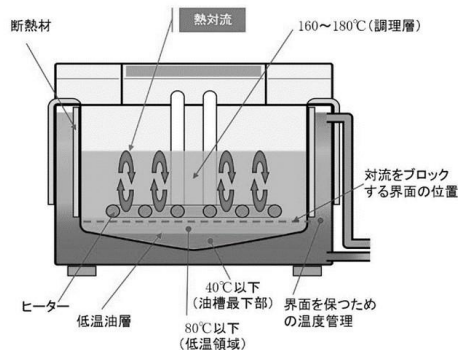
- ・ 変形したカセットボンベは使用しないでください。
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 火気や直射日光等、高温になる場所に置かないでください。
- ・ 中身を完全に使い切ってから廃棄してください。ただし、ガス抜きは模擬店エリアでは決して行わず、仮設ごみ集積所（フロンティア研究棟駐車場）で行

ってください。(常駐している委員に声をかけ、穴あけ器を借りてください。)

5. フライヤーの使用について

I. フライヤーの構造

フライヤーが揚げ鍋と異なる点は、加熱手段であるヒーターが油槽の中段にあることで、クールゾーンと言われる低温領域を持っていることです。この結果揚げカスは落下沈殿し、食材から発生する水分の一部も落下沈殿するので、揚げ鍋での調理に比べて油ハネは少なく、油の劣化は抑制されます。低温領域の温度を低く保つために、油槽の熱で上昇する空気によって周囲の空気を下部から吸引し、これによって油槽の下部を空冷しています。



II. 使用上の手順

- ① ガスホースをフライヤーのガス接続口に繋ぐ。
- ② 排油ハンドル（油を捨てるための底穴を開くハンドル）が「止」になっていることを確認する（万が一「開」になっていると入れた油が底から流れ出てしまうため）。
- ③ ガスの元栓を開く。
- ④ サーマダイヤルを回し油の温度を160℃から180℃の間で設定する。
- ⑤ ツマミを押し込みながら反時計回りに15度回し、種火を点火する。
- ⑥ 十分にガスが送り届けられないうちは種火が点かないため、ツマミを回して点火する作業を繰り返し何度か行う。種火が点いたらそのままツマミを押し続け20秒待つ。
- ⑦ ツマミから一旦手を離し、改めてツマミをさらに反時計回りに15度回しメインバーナーに点火する。

- ⑧ 温度計を利用するなどして油が設定温度まで達していることを確認し、食品を入れ、揚げる。
- ⑨ 調理終了後ツマミを戻して消火し、ガスの元栓を閉める。
- ⑩ 油が十分に冷めてからフライヤー下に一斗缶(*)を用意し、排油ハンドルを「開」の位置まで回して油を落とす。

*一斗缶…廃油を処理するため、各模擬店ブロックに一斗缶を配布します。詳しい処理方法については、今後の会議等にてお知らせいたします。

III. 注意事項

- ・油量は目印のライン(本誌 P. 20 図参照)をオーバーしないでください。(油は加熱されると膨張するため)
- ・油の温度は180℃以下を保ってください。
- ※フライヤー使用団体は、温度計(200℃まで計れるもの)を必ず用意してください。
- ・フライヤーの油かすはこまめに取り除いてください。

(3) 夜間完全退構について

今年度の大学祭の企画終了時刻、完全退構時刻は以下のようになります。企画終了時刻にはテントをたたんで営業を終了し、片付けや撤収作業を行い、完全退構内時刻には大学の敷地内から出るようにしてください。

なお、「みやこ祭参加規約」に基づき、夜間の再入構は禁止となっておりますので、忘れ物のないようお願いいたします。

	11月2日（日）、3日（月・祝）	11月4日（火）
企画終了時刻	19:00	15:00
完全退構時刻	20:30	17:30

3. その他

(1) 今後の参加辞退・申請内容の変更について

今後大学祭の参加辞退をされる場合は、お早めに大学祭実行委員会までご相談ください。ただし、模擬店経費やすでに申請したレンタル品の料金等はお支払いいただきます。

テント・テントウェイトにつきましては、大学祭実行委員会が生協を通じて、レンタル会社へ依頼します。9月23日(火)を発注数の確定日としますので、それ以降に大学祭の模擬店出店を辞退された団体はテント費・テントウェイト費もお支払いいただきます。

また、大学祭にて配布するパンフレットの掲載の取りやめができない可能性があります。

生協レンタル品やプロパンガス等申請済みのものの使用取りやめは可能ですが、その分の返金はできません。

上記を確認いただいた上で、参加辞退や申請内容の変更がある場合は、大学祭実行委員会事務局模擬店参加のメールアドレスまでご連絡ください。

mepo.mogiten21th@gmail.com



(右の QR コードからも読み取れます。)

(2) 今後の模擬店設置会議について

今後実施を予定している模擬店設置会議は以下の通りです。

第3回 模擬店設置会議

日時：9月16日（火）

『第3回 みやこ祭参加準備会議』終了後 場所：オンライン（Zoom）

第4回 模擬店設置会議

日時：10月14日（火） 場所：オンライン（Zoom）

- ・ 時間や場所の詳細は決まり次第メール等にてお知らせします。
- ・ 今後の各模擬店設置会議には代表者もしくは副代表者、および火気使用団体の場合は、火気取扱責任者1名の出席をお願いいたします。やむを得ず欠席する場合は代理の方の出席も可能ですので、会議2日前までに代理の方のお名前とご連絡先（メールアドレス）を、件名に「代理出席について」と記入して、大学祭実行委員会事務局模擬店参加のメールアドレスまでご連絡ください。

mepo.mogiten21th@gmail.com

（右の QR コードからも読み取れます。）



2025年度 第2回 模擬店設置会議 資料

発行 東京都立大学南大沢キャンパス大学祭実行委員会所在 学生ホール206
大学祭実行委員会室

連絡先 mepo.mogiten21th@gmail.com

(右の QR コードからも読み取れます。)

